

# 2012

## キッツグループ

---

### 環境報告 **ダイジェスト**

**KITZ**

## トップメッセージ



代表取締役社長

堀田 康之

### リスクの予防とコストの低減 の両立を図り、 グループを挙げて環境経営 を推進します

キッツは水や石油、ガスなどの流体制御機器メーカーとして、上下水道や給湯、空調など私たちのライフラインから、石油やLNGなどプラントのプロセスラインまで多様な分野に主力製品であるバルブを提供しております。ライフラインを支える企業として、お客様に対する商品・サービスの継続的な提供を最大の使命と考え、これまで以上に取り組んでまいります。

キッツグループは、2010年5月に発表した長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」において、「真のグローバル企業への進化」というスローガンを掲げております。この実現に向け、「グループを挙げた環境経営の推進」を経営基盤強化の1つとして位置づけ、これをもとに「環境マネジメント体制の強化」「環境負荷の低減」「環境関連法規制対応」の3つの目標を設定しております。

1つ目の「環境マネジメント体制の強化」においては、国内の全製造拠点で完了しているISO14001 認証取得を海外拠点にも広げてまいります。2011年度は、新たにタイとスペインの2拠点がISO14001の認証を取得しました。早期に海外の全生産拠点での取得を果たし、真のグローバル企業としての環境管理体制の構築を目指してまいります。

2つ目の「環境負荷低減」においては、事業活動に投入される「エネルギー」や「水資源」、事業活動によって排出される「CO<sub>2</sub>」「廃棄物」「化学物質」の削減を目標項目と設定しております。投入されるエネルギーや水資源は、事業の成長において必要不可欠ですが、限りある資源の効率的な活用によって低減を目指します。一方、排出されるCO<sub>2</sub>、廃棄物及び化学物質は、徹底したムダの排除により総量と原単位の両面から環境負荷低減に取り組めます。

3つ目の「環境関連法規制対応」においては、日本国内はもとより、欧州、アジア、米国など世界的に規制が厳しくなる環境問題に対し、各種環境法規制への遵守にとどまらず、事業活動に影響を及ぼすあらゆるリスクを排除していく活動に取り組んでまいります。また、お客様のニーズを踏まえ、環境規制を見据えた環境配慮製品の開発を進め、キッツグループの持続的な成長を果たしてまいります。

こうした3つの目標は、『「リスクの予防」と「コストの低減」の両立』をベースに達成したいと考えております。ここでいう「両立」とは、積極的に環境活動に取り組むことで土壌汚染などを未然に防ぎ、将来発生しうる費用を抑える、また事業活動で排出される廃棄物などを徹底的に削減した結果、コストの削減となり広く社会に還元できるという考え方です。

『「リスクの予防」と「コストの低減」の両立』を果たすために「管理体制の強化」「活動の効率化」「環境負荷物質の低減」を柱とした活動をグループ全体で共有し、トップから従業員まで一丸となって環境活動に取り組んでまいります。

キッツグループでは、これからも、お客様、地域住民の方々、株主様や従業員など広くステークホルダーの皆様に対し、企業としての説明責任を果たすとともに環境活動へのご理解を深めていただきたいと考えております。そして皆様とのコミュニケーションを図りながら、ご期待にお応えできる企業を目指してまいります。

2012年7月



## キッツグループ 環境理念

キッツグループは、環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動の推進により、社会から信頼される企業を目指します。

## キッツグループ環境行動方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供 | 2. 資源の有効活用    |
| 3. 廃棄物の削減と再使用・再利用の推進    | 4. 環境汚染の防止・予防 |

### 長期経営計画におけるグループ環境目標

#### ① 環境マネジメント体制の強化

海外拠点のISO14001 認証取得及び環境実績管理

#### ② 環境負荷の低減

目標設定項目

● CO<sub>2</sub> 排出量

● エネルギー消費量

● 廃棄物排出量

● 廃棄物最終処分量

● 水使用量

● PRTR 排出量

#### ③ 環境関連法規制対応



### 目標達成に向けた環境経営の考え方と取り組み

経営基盤強化  
(グループ環境経営)

リスクの予防

コストの低減

両立

管理体制の強化

- 仕組みづくり
- 人材育成
- 見える化

活動の効率化

- グループ活動
- システムの活用

環境負荷物質の低減

- 温暖化対策
- 共通課題(廃棄物・水資源など)
- 地域への配慮
- 将来リスクへの対応

# 事業活動と環境負荷 (マテリアルバランス)

## INPUT



### 主なエネルギー

	キッツ・製造 グループ会社	(営業所)	サービス グループ会社
●電気			
購入電力 (千kWh)	95,907	536	15,016
太陽光発電 (千kWh)	67		
●都市ガス (千m³)	10		2,379
●A重油 (kl)	948		315
●LPG (t)	1,778	23	183
●灯油 (kl)	695	17	157
●冷・温水 (GJ)	2,896		1,441



### 水

	キッツ・製造 グループ会社	(営業所)	サービス グループ会社
●上水 (千m³)	130	3	233
●地下揚水 (千m³)	448		342



### 主な原材料

	キッツ・製造 グループ会社
●鉛 (t)	1,793
●ニッケル (t)	489
●マンガン (t)	1,308
●クロム (t)	737
●銅 (t)	37,481
●亜鉛 (t)	19,733

### 主な副資材

	キッツ・製造 グループ会社
●中子砂 } など (t)	5,800
●鑄物砂	
●塗料、シンナー (t)	193
●油剤 (t)	213

## KITZ GROUP



## OUTPUT



### 大気への排出

	キッツ・製造 グループ会社	(営業所)	サービス グループ会社
●CO <sub>2</sub> (t)	53,304	574	13,446
●ばいじん (t)	4.5		0.3
●NOx (t)	6.4		7.9
●SOx (t)	4.9		10.8



### 廃棄物等排出量

	キッツ・製造 グループ会社	(営業所)	サービス グループ会社
●産業廃棄物 (t)	8,526	1	112
●一般廃棄物 (t)	198	2	269
●有価物 (t)	6,362		70
●最終処分量 (t)	390		47



### 化学物質排出量 (PRTR対象物質)

	キッツ・製造 グループ会社	(営業所)	サービス グループ会社
●大気 (t)	73		
●廃棄物 (t)	254		
●公共水域 (t)	0.1		

## 環境会計

### 環境保全コスト (※2)

(単位: 千円)

分類	主な取り組みの内容	設備投資額	費用額	
事業エリア内コスト		120,492	547,002	
内訳	公害防止コスト	公害防止施設・設備の導入・維持管理	65,626	246,708
	地球環境保全コスト	省エネ型設備・機器の導入	54,865	60,555
	資源循環コスト	廃棄物減量化・リサイクル、外部委託処理費	—	239,739
グリーン購入製品 リサイクルコスト	使用済み商品の回収・リサイクル費用	—	17,833	
管理活動コスト	ISO・環境測定・環境情報の開示	350	75,565	
研究開発コスト	鉛フリーなど環境配慮商品の開発	—	100,948	
社会活動コスト	緑化活動の推進	—	609	
環境損傷コスト	地下水の浄化対策	—	7,062	
その他のコスト		—	—	
合計		120,842	749,019	

項目	内容等	金額
当該期間の設備投資額の総額	環境保全に係る投資額の割合: 5.1%	2,392,690
当該期間の研究開発費の総額	環境保全に係る開発費の割合: 6.3%	1,590,808

※1 集計範囲はキッツ (本社、長坂工場、伊那工場)、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、東洋バルブ、キッツエスシーティ、三吉バルブ、清水合金製作所

※2 集計範囲はキッツ (本社、長坂工場、伊那工場、茅野工場)、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、キッツエスシーティ、清水合金製作所

### 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期※1 (2010年度)	当期※2 (2011年度)	前期との差
事業活動に投入する 資源に関する環境保 全効果	総エネルギー投入量 (GJ)	498,935	511,945	13,010
	PRTR対象物質の投入量 (t)	4,332	4,702	370
	上水投入量 (m³)	125,090	130,255	5,165
	地下揚水投入量 (m³)	435,898	447,931	12,032
事業活動から排出す る環境負荷及び廃棄 物に関する環境保全 効果	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	51,964	53,304	1,339
	特定の化学物質排出量・ 移動量 (t)	293	316	23
	一般廃棄物及び 産業廃棄物総排出量 (t)	8,149	8,724	575

### 環境保全対策に伴う経済効果 (※2)

(単位: 千円)

	効果の内容	金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み商品等のリサイクルによる事業収入	381,627
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	30,868
	リサイクルに伴う費用節減	△4,955
	廃棄物減量に伴う費用節減	231,326
合計		638,866

# 中期経営計画と2011年度の実績

中期経営計画において「グループ環境経営の推進」を掲げ、環境活動を進めています。

重点テーマ	実施項目	2011年度到達目標	2011年度実績
環境経営の確立	① グループ環境管理体制の構築	① 国内7拠点のグループ認証運用の推進 ② 海外製造2事業所でISO14001認証を取得	① 運用開始(2012年10月にグループ審査受審予定) グループ環境マニュアルの構築 管理体制(組織)の構築 ② KITZ Corporation of Europe,S.A.及び KITZ (Thailand) Ltd. アマタナコン工場の2拠点で ISO14001認証取得
	① 総廃棄物量原単位 (t/億円) の削減	売上高原単位 7.6t/億円	8.3t/億円(※)
環境負荷の低減	② 廃棄物最終処分量原単位 (t/億円) の削減	売上高原単位 0.54t/億円	0.40t/億円(※)
	③ 水資源使用量原単位 (m <sup>3</sup> /億円) の削減	売上高原単位 1,110.97m <sup>3</sup> /億円	1,053.4m <sup>3</sup> /億円(※)
	④ PRTR第1種指定化学物質排出量原単位 (t/億円) の削減	売上高原単位 0.26t/億円	0.29t/億円(※)
	⑤ エネルギー消費量原単位 (GJ/億円) の低減	売上高原単位 665.6GJ/億円	644.1GJ/億円(※)
	⑥ 地球温暖化ガスCO <sub>2</sub> 排出量原単位 (t-CO <sub>2</sub> /億円) の低減	売上高原単位 62.72t-CO <sub>2</sub> /億円	61.09t-CO <sub>2</sub> /億円(※)
	環境関連法規制対応	① 法規制への対応	① 資産除去債務の管理体制の構築 ② 改正水質汚濁防止法への対応
② PCB		国内グループ会社PCB廃棄物管理体制の構築、適正処分	24台処分完了

(※) キッツ及び国内グループ会社(営業所は除く)

## エネルギー消費量の推移



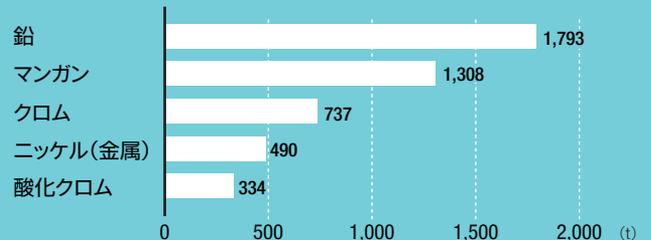
## CO<sub>2</sub>排出量の推移



## 産業廃棄物量の推移



## PRTR対象物質使用量(上位5種)



※ 年間取り扱い量1t未満、含有率1%未満のPRTR対象物質も集計しています。

キッツ及び製造グループ会社(営業所は除く)
  サービスグループ会社(2008年度よりデータを集計)
  キッツ及び製造グループ会社(営業所)(2009年度よりデータを集計)
  売上高原単位はキッツ及び製造グループ会社(営業所は除く)

## 編集方針

キットグループでは、お客様、お取引先様、株主様、地域の皆様、従業員などのステークホルダーの皆様に向けた情報公開の一環として、環境に対する活動の方針や実績などについて紹介する環境報告書を2006年から発行しています。

掲載情報の対象範囲につきましては、環境報告書の初回発行以降、徐々に拡大しており、今後はグローバルな環境マネジメントの展開のために海外製造拠点へと広げていきたいと考えています。

当該冊子に加え、環境データや詳細な取り組みなどについては、幅広い情報を掲載したウェブ版 (<http://www.kitz.co.jp/environment/index.html>) もご用意し、媒体の特性を生かした報告を試みています。今後もステークホルダーの皆様のご参考となる情報をお届けできるよう、内容の一層の充実を図ってまいります。

**対象期間:** 対象期間は2011年度 (2011年4月1日～2012年3月31日) の実績ですが、一部2011年度以降の情報も記載しています。

**環境パフォーマンス情報の収集・報告の方針及び基準:** 環境関連法規に準拠し、「キットグループ環境理念」「キットグループ環境行動指針」「キットグループ環境・安全衛生パフォーマンスデータ算定ガイドライン」他環境関連社内規定に基づき記載しています。

**参考にしたガイドライン:**

- 環境省「環境報告ガイドライン (2007年版)」
- 環境省「環境会計ガイドライン (2005年版)」

**発行:** 2012年7月

**次回発行予定:** 2013年7月 (毎年発行していく予定です)

**対象範囲:** キット及び国内グループ会社8社を含んでいます。

報告書内での用語	事業所名	報告書対象範囲			データ集計	
		製造	営業所	サービス		
キットグループ 国内グループ	キット	(株)キット	本社 (千葉営業所を含む)、長坂工場、伊那工場、茅野工場	研修センター、営業13拠点	—	
	製造グループ会社	(株)東洋バルブ	—	—	—	本社、営業8拠点
		(株)清水合金製作所	彦根工場 (本社)	営業7拠点	—	営業2拠点 (札幌・青森)
		(株)キットエスシーティー	新田SC工場	本社、営業4拠点	—	—
		(株)キットマイクロフィルター	本社工場	—	—	東京営業所・工業フィルター営業所は東洋バルブ本社に含む 大阪営業所はキット大阪営業所に含む
	(株)キットメタルワークス	本社工場 (甲信営業所含む)	関西配送センター (旧京都プラス) 2009年7月より対象	—	関東営業所はキット本社に含む 中部営業所はキット中部支社に含む 関西営業所はキット大阪営業所に含む	
	サービスグループ会社	(株)キットエンジニアリングサービス	—	—	京浜、鹿島、名古屋、阪神、徳山	—
		(株)キットウェルネス	—	—	綾瀬店、藤沢店、金沢文庫店、幕張店、平塚店、北松戸店、南柏店、茅ヶ崎店、公津の杜店、流山おおたかの森店、仙台店、南古谷店、水戸店、日進店、稲毛海岸店 (鍼灸治療院)	須玉店 (受託運営)、葦崎店 (受託運営)、根白石店 (受託運営)、栗駒店 (受託運営)
		(株)ホテル紅や	—	—	ホテル、稀石の癒、東部湯の丸、諏訪湖サービスエリア内の売店・レストラン	—
	海外	海外製造・販売拠点	—	—	—	海外8拠点
海外仕入・販売拠点		—	—	—	海外2拠点	

**算定基準 (2011年度実績):**

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法					
INPUT	GJ	事業活動で消費されるエネルギー量 (GJ)	$\Sigma$ [各エネルギー年間使用量 × 各単位発熱量] × 10 <sup>-3</sup>				
		*出典: 平成22年度 (2010年度) におけるエネルギー需給実績 (確報) (平成24年4月13日公表) 資源エネルギー庁					
	電気: 3.6MJ / kWh	A重油: 39.9MJ / L	灯油: 36.7MJ / L	軽油: 38.1MJ / L	LPG: 50.8MJ / kg	都市ガス: 44.8MJ / m <sup>3</sup>	ガソリン: 34.6MJ / L
	GJ	キット本社ビル (千葉県: 幕張新都心) において、空調利用のために地域冷暖房システムから熱源である冷温水を受け入れている量					
原材料投入量	トン	商品を生産するために直接使用する原材料の年間使用量 (t)					
水の使用量	m <sup>3</sup>	上水及び地下水の年間使用量 (m <sup>3</sup> )					

OUTPUT	事業活動	トン	事業活動で消費されたエネルギーにより排出された二酸化炭素 (t)			
			*地球温暖化対策推進法施行令より 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧			
二酸化炭素排出量	電力 (kg-CO <sub>2</sub> / kWh)	東京電力: 0.375	関西電力: 0.311	中部電力: 0.473	北海道電力: 0.353	
		東北電力: 0.429	北陸電力: 0.423	中国電力: 0.728	九州電力: 0.385	
	A重油: 2.61kg-CO <sub>2</sub> / L	灯油: 2.49kg-CO <sub>2</sub> / L	軽油: 2.61kg-CO <sub>2</sub> / L			
	LPG: 3.00kg-CO <sub>2</sub> / kg	都市ガス: 2.23kg-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>	東京・大阪ガス: 2.29kg-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>	武州・東部ガス: 2.23kg-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>		
	北ガス: 2.36kg-CO <sub>2</sub> / m <sup>3</sup>	冷・温水: 0.057kg-CO <sub>2</sub> / MJ	ガソリン: 2.32kg-CO <sub>2</sub> / L			
	ばいじん量 (t) = ばいじん濃度 (g / m <sup>3</sup> N) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> N / h) × 年間稼働時間 (h / 年) × 10 <sup>-6</sup>					
	SOx (t) = 硫黄酸化物濃度 (ppm) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> N / h) × 年間稼働時間 (h / 年) × 64/22.4 × 10 <sup>-9</sup>					
	NOx (t) = 窒素酸化物濃度 (ppm) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> N / h) × 年間稼働時間 (h / 年) × 46/22.4 × 10 <sup>-9</sup>					
	最終処分量: 委託した廃棄物量 (トン) × 最終処分量率 (%)					
	※ 一般廃棄物: 環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等 (2010年度実績) について」より引用。産業廃棄物: 中間処理業者から回答の得られた値。					
廃棄物						

## 株式会社 キッツ

株式会社キット 環境推進グループ 〒408-8515 山梨県北杜市長坂町長坂上条2040

TEL: 0551-20-4104 FAX: 0551-20-4180 WEBサイト: <http://www.kitz.co.jp/environment/index.html>

